



## でいすかばあ～白老(はつらつシルバー)

### 会は40歳、長老は100歳。こいゃあめでたい!

情報ノート



町内の将棋愛好者が集う白老王将会（田島盛幸会長、12人）が今年、発足40周年を迎えました。そしてメンバーの一番の長老・長谷川喜久雄さんが4月で100歳に。「めでたい！これはぜひみなでお祝いを」と3月19日、定例会の席上、長谷川さんの健康と棋力をたたえる「祝紀寿（百寿）」の賞状と記念品を贈りました。「何度も大病を患いましたが、皆さんのおかげで何とかここまで生きてきました」と、将棋仲間の祝福を喜んでいました。

10歳から本格的に将棋を始めたという大正生まれの長谷川さんは、夕張出身の元炭坑マン。将棋は現役時代、引退後を通してこれまでの人生の支えだったよう。



王将会は毎月第1、第3日曜9時から、川沿生活館に集まり、毎回6局ほどの対局を重ねています。長谷川さんは発足当時からメンバーで、真剣勝負とおしゃべりを楽しんでいます。仲間に棋風を尋ねると「粘り強く、オールランド」と、勝率も6割以上をキープしているという。「これからもみんなの模範になってください」と、仲間の笑顔に囲まれていました。

同会は会員を募っています。会費は月1,000円、別に年会費1,000円。問い合わせは同会鈴木さん（☎080-5594-4194）へ。

## 4年ぶり 元気まちねんりんピックで心地よい汗



コロナ禍のため4年ぶりとなった白老名物・ねんりんピックが2月21日、白老コミセンで開催されました。60歳以上の男女約70人がゲーリングとフロアカーリング、マージャンの団体種目、囲碁、将棋の個人種目を楽しみ、各種目で白熱した試合を展開。マスク越しながら笑顔あふれる大会となりました。



おめでとうございます!

薄井政枝さん(99)